

はなし
×
ちくば

チクバ外科広報誌 VOL.26
2021.JUNE

特集
胃がん



特集 胃がん
Stomach Cancer



01 胃がんとは

胃がんは、胃の壁の内側をおおう粘膜の細胞が何らかの原因でがん細胞となり、無秩序にふえていくことにより発生します。がんが大きくなるにしたがい、徐々に粘膜下層、固有筋層、漿膜へと外側に深く進んでいきます。がんがより深く進むと、漿膜の外側まで達して、近くにある大腸や膵臓(すいぞう)にも広がっていきます。このようにがんが周囲に広がっていくことを浸潤(しんじゆん)といいます。

胃がんでは、がん細胞がリンパ液や血液の流れに乗って、離れた臓器でとどまってふえる転移が起こることがあります。また、漿膜の外側を越えて、おなかの中にかん細胞が散らばる腹膜播種(ふくまくはしゆ)が起こることがあります。

胃がんの中には、胃の壁を硬く厚くさせながら広がっていくタイプがあり、これをスキルス胃がんといいます。早期のスキルス胃がんは内視鏡検査で見つけることが難しいことから、症状があらわれて見つかったときには進行していることが多く、治りにくいがんです。

02 胃がんの症状

胃がんは、早い段階では自覚症状がほとんどなく、かなり進行しても症状がない場合があります。代表的な症状は、胃(みぞおち)の痛み・不快感・違和感、胸やけ、吐き気、食欲不振などです。また、胃がんから出血することによって起こる貧血や黒い便が発見のきっかけになる場合もあります。しかし、これは胃がんだけにみられる症状ではなく、胃炎や胃潰瘍(いはいよう)の場合でも起こります。胃炎や胃潰瘍などの治療で内視鏡検査を行ったときに偶然に胃がんが見つかることもあり

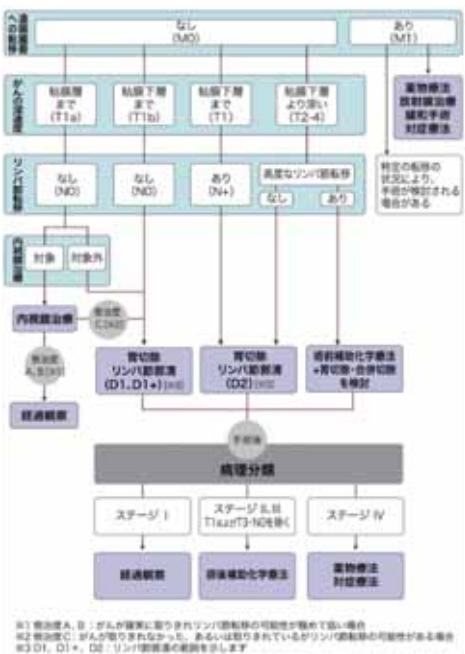
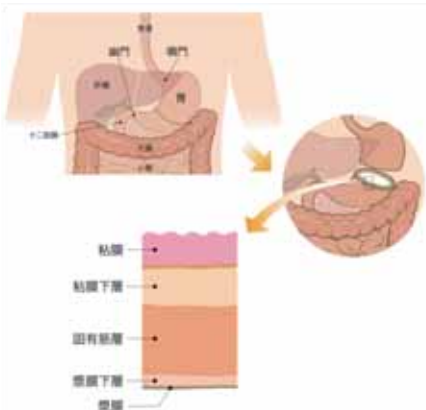
ます。

また、食事がつかえる、体重が減る、といった症状がある場合は、進行胃がんの可能性もあります。これらのような症状があれば、検診を待たずに医療機関を受診しましょう。

03 胃がんの検査

胃X線検査

いわゆるレントゲン検査です。造影剤のバリウムと、胃を膨らませる炭酸ガスを発生させる発泡剤を飲んで検査を受けます。発泡剤を飲むとゲップが出やすくなりますが、胃の粘膜を見やすくするためにゲップを我慢する必要があります。





レントゲンで胃の内部を撮影するため、食事や飲料の摂取制限があります。

胃内視鏡検査

小型のカメラを装着した細い管(直径5mm〜10mm程度)を口から挿入し、食道、胃、十二指腸を直接観察します。粘膜の微細な変化も鮮明に見えることから、凹凸の少ない病変や出血なども確認する事ができます。

管ののどを通過する際に嘔吐反射が起きることがあり、苦痛を感じる方もいます。当院では付き添いの方がいれば苦痛を軽減するための鎮静剤の使用ができますので比較的、楽に検査を受けていただくことが可能です。

04 胃がんの治療について

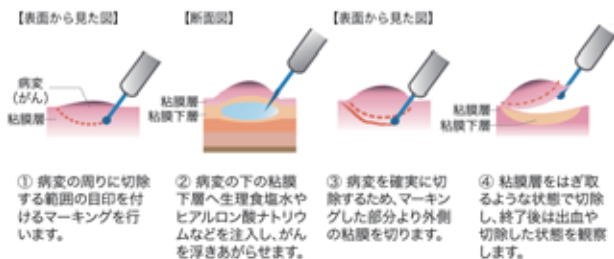
胃がんの治療法には、内視鏡治療、手術、薬物療法などがあります。治療法は、標準治療に基づいて、患者さんの体の状態や年齢、希望なども含めて検討し、担当医と共に決めていきます。

内視鏡治療

胃内視鏡を使って胃の内側からがんを切除する(切り取る)方法です。がんが粘膜層にとどまっており、原則リンパ節転移の可能性がごく低い早期のがんで、一度に切除できると考えられる場合に行われます。

手術と比べると、体に対する負担が少なく、また、がんの切除後も胃が残るため、食生活に対する影響が少ない方法です。合併症として、出血や穿孔(せんこう…穴が開く)が起こることがあります。

内視鏡治療でがんが確実に取りきれなかっかどうかは、病理診断で確認します。リンパ節への転移の可能性も考えながら、次の治療について決めていきます。がんが確実に取りきれず、リンパ節転移の可能性が極めて低い場合(根治度A、B)には、経過を観察します。がんが内視鏡治療では取りきれなかった、あるいは取りきれないが、深さが粘膜下層まで達しているなどの理由でリンパ節転移の可能性がある場合(根治度C)は、後日、追加で手術が必要となります。



外科手術

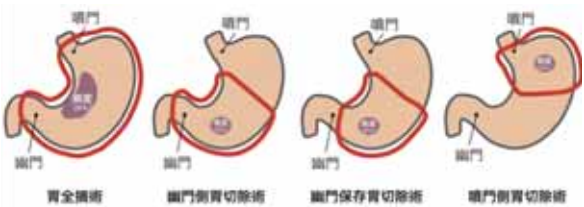
遠隔転移がない胃がんで、内視鏡治療による切除が難しい場合には、手術による治療が推奨されています。手術では、人と胃の一部またはすべてを取り除きます。同時に胃の周囲のリンパ節を取り除くリンパ節郭清(かくせい)や、食物の通り道をつくり直す再建手術(消化管再建)も行います。切除する胃の範囲は、がんのある部位と病期(ステージ)の両方から決めます。胃の切除範囲によっていくつかの方法があり、代表的なものは、胃全摘術、幽門(ゆうもん)側胃切除術、幽門保存胃切除術、噴門(ふんもん)側胃切除術です。

化学療法

胃がんの薬物療法には、大きく分けて「手術によりがんを取りきる」ことが難しい進行・再発胃がんに対する「化学療法」と「再発の予防を目的とする術後補助化学療法」があります。

遠隔転移がある場合など、薬だけでがんを完全に治すことは困難ですが、がんの進行を抑えることにより、生存期間が延長したり、症状を和らげたりすることができます。

そして手術でがんを切除できた場合でも、目に見えないようなごく小さながんが残っていて、のちに再発することがあります。こうした小さながんによる再発を予防する目的で行われる化学療法を術後補助化学療法といいます。手術後の患者さんの全身状態やがんの進行度を考慮しながら、T.S.1のみあるいはほかの薬とともに使う方法を検討します。



緩和ケア・支持療法

緩和ケアとは、クオリティ・オブ・ライフ(QOL:生活の質)を維持するために、がんに伴う体と心のさまざまな苦痛に対する症状を和らげ、自分らしく過ごせるようにする治療法です。緩和ケアは、がんが進行してからだけではなく、がんと診断されたときから必要に応じて行われるものです。患者さんの希望に応じて幅広い対応をします。

支持療法とは、がんそのものによる症状やがん治療に伴う副作用・合併症・後遺症による症状を軽くするための予防、治療およびケアのことを指します。

05 当院における胃がん治療の現状

当院では早期胃がんに対する内視鏡的治療から、進行がんに対する外科的手術・化学療法・緩和ケアまで、専門病院として積極的に行っており、患者さんそれぞれの背景に合わせて治療法を一緒に考えていきます。

また、胃がんを早期発見しできるだけ負担の少ない治療で根治ができるように、内視鏡を中心とした定期的な検査を勧めています。

国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センター
URL: <https://ganjoho.jp/public/index.html>



医師
谷 浦 允 厚
NOBUATSU TANIURA

平成22年近畿大学卒
外科専門医

【ひとこと】
低い敷居で高度な医療を目指します。

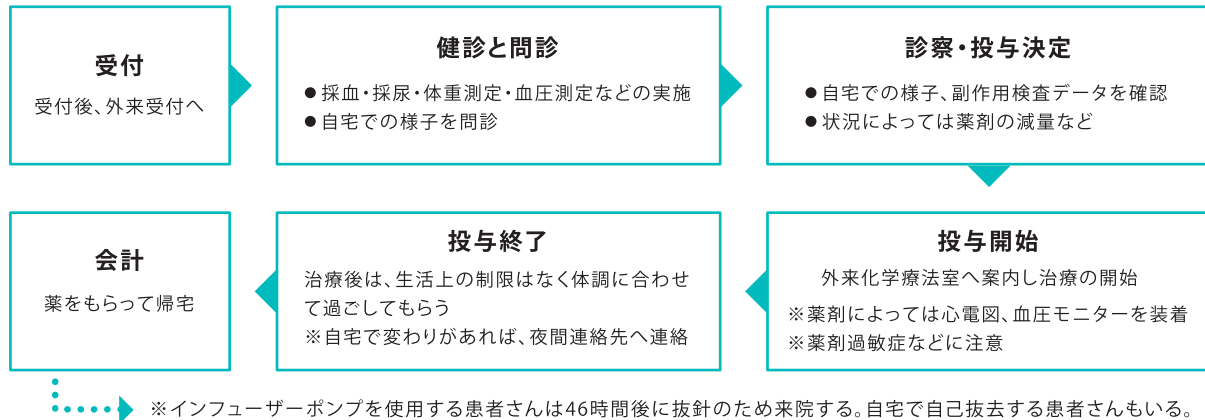
がん化学療法の治療の場は、入院から外来・在宅へと移行しています。治療の発展と共に副作用をコントロールする薬剤もどんどん開発され、患者さんは家事や仕事などの日常生活を営みながら治療を継続できるようになりました。私たち外来がん化学療法室スタッフの役目は、安全・確実な薬剤投与はもちろん、副作用のマネジメントやセルフケア支援をすること、治療開始、継続など様々な局面での意思決定支援をしていくことです。

外来化学療法室での治療

外来化学療法室では、できるだけ患者さんに快適に過ごしていただくために、リクライニングベッドでテレビを楽しみながら化学療法を受けられるようになっています。看護師が常に治療の状況・患者さんの状態を観察していますので、安心して化学療法を受けることができます。化学療法室のスタッフは、毎朝のミニカンファレンスと毎週1回の全体カンファレンスで患者さんの情報をスタッフ間で共有し、十分に状況を把握したうえで、治療に関わっております。



外来化学療法室当日の患者さんの流れ



「いつでも相談できる」という安心感を提供できるよう、患者さんやそのご家族と信頼関係を築きながら支援していくことを目標に、日々笑顔を心がけ、業務に取り組んでおります。ささいな悩みでも構いませんので、遠慮なく声をかけてください。

医療事情いま昔

こうもん

肛門診療四方山話

Medical Circumstances

名誉院長 瀧上隆夫



前回、黒っぽい便について書きましたが、そもそも便の成分は消化、吸収されない食物の残渣、消化液、消化管粘膜の脱落

したものの、腸内細菌などの混じったものですが、その80%は水分です。中でも腸内細菌は便の1/3を占めるほどの極めて大切な成分なのです。消化液としては唾液、腸液、胆汁が大切ですが、唾液や腸液は分泌されたらそのまま尻から出てしまいますが、胆汁は胆汁酸として腸から再吸収されて肝臓に戻り、再び胆汁の材料になるのです(腸肝循環)。いわゆるリサイクルされているのです。胆汁酸は小腸の終わりの部分、回腸末端で再吸収されます。肝臓で作られたものを二次胆汁酸と呼ぶ胆汁酸、腸内細菌により変化を受けたものを二次胆汁酸と呼んでいます。クローン病の様な小腸の病気で、胆汁酸の吸収が悪いと、便の中に胆汁酸が多量に含まれ、便が軟らかくなり下痢を起こすようになります。また、胆汁酸の吸収が悪いと胆石や大腸癌にもなりやすいたことが分かっています。

そして便は、タンパク質の腐敗作用が強い時にはアルカリ酸、糖質の発酵が盛んな時は酸性に傾きます。

便の色が白っぽい時は、胆汁が腸に排泄されない状態の便で、胆汁の流れる道、いわゆる総胆管の結石、癌、胆嚢癌、膵癌などで起こり、極めて重要な病気のサインです。正常であれば、肝臓で作られた胆汁は総胆管を通過して十二指腸に排泄されます。そして胆汁中の胆汁色素(ヘモグロビンが分解されてビリルビンとなった)が食物と混じって便特有の色となるのです。ところがビリルビンが流れてこないとなれば、便が灰白色で粘り気もなくつやもない、バサバサとした便が出るようになります。そのぐらいになると血液中の肝機能の異常、ビリルビンの上昇、いわゆる黄疸の症状が出ます。白っぽい便と言っても心配な病気だけではなく、脂肪の吸収不良を起こして灰白色の脂肪便が見られることもあり、赤ちゃんでは口タウウイルス感染で白色水様便が見られることがあります。(つづく)

外来看護師

窪津加奈

KANA KUBOTSU

当院のスペシャリストを紹介する

Special
One

チクバ外科へ入職されたきっかけは何ですか？

以前勤めていた病院を長男の出産を機に退職し、しばらく子育てに専念していました。再就職を考えた時、当院には保育園があり子育てしながら働きやすい職場であると感じ、入職を希望しました。長女がこちらの保育園にお世話になりましたが、先生方がとても優しく手厚くみて下さり、私も安心して仕事ができました。娘が一番はじめに通った保育園が、こちらの保育園で本当に良かったです。

外来看護師の役割・やりがいとは？

患者さんが安心して、診察・検査・治療を受けることができるようお手伝いしています。特にがん化学療法は外来を治療の場とする事が多く、私たちの大きな役割です。当院では治療当日の担当看護師が、問診から診察介助、治療やセルフケア支援を行います。当日の一連の流れを担う事は、身近な医療者として患者さんとの関係を築きやすく、当院外来の強みであると考えています。「抗がん剤」と聞くと「副作用」をイメージされる方が多いと思います。副作用の出方は人それぞれで、扱う薬によっても異なります。予測される副作用にどう対応すればよいかをお伝えし治療が継続できるようにする事、副作用を正しく評価し治療自体が患者さんにとって不利益とならないようにサポートする事が大切な役割だと思っています。

仕事で大切にしていることは何ですか？

患者さんやご家族の思いを聴き、受け止めることです。また、学習を継続し、看護に活かせるよう心掛けています。がん化学療法では、患者さんがより自分らしく過ごするためのサポートを多職種が連携して行っています。チーム医療の重要性を感じると共に、日々支えて下さる多くの職員の方々への尊敬と感謝の気持ちを忘れず関わっていききたいと思えます。

趣味・休日の楽しみは何ですか？

スポーツするのは苦手ですが、見て応援したり、スポーツ漫画も好きです。最近はおうち時間が増えたのをきっかけに、昔習っていたピアノを触るようになりました。娘と流行りの曲を弾きながら楽しんでいます。



STAFF

スタッフ紹介

期待のニューフェイス

鷹家 友子

TOMOKO TAKAIE

外来勤務

趣味・ストレス解消法
旅行・ドライブ

好きな言葉
なるようになる

仕事へのこだわり
短い時間での患者さんとの関わりを
大切にしていきたいです



期待のニューフェイス

磯田 味季

MIKI ISODA

病棟勤務

趣味・ストレス解消法
ポケモンGO

好きな言葉
やるときはやる！
やらないときはやらない！

仕事へのこだわり
もし自分が患者さんだったら
どんなことをしてほしいかを想像して
接するよう心がけています



期待のニューフェイス

大森 静奈

SHIZUNA OHMORI

病棟勤務

趣味・ストレス解消法
フットサル・サッカー観戦

好きな言葉
虚心坦懐

仕事へのこだわり
いつも笑顔で、患者さんに安心と元気を
与えられる看護ができるよう頑張ります



でーれーえー人

田中 広子

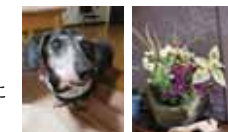
HIROKO TANAKA

内視鏡センター勤務

趣味・ストレス解消法
植木鉢作り（ナチュラルアート）草花を植えて
楽しむことと愛犬「リキ」と過ごすことです

好きな言葉
一期一会

仕事へのこだわり
看護師として、内視鏡検査を安全・安心・
安楽に受けて頂けるお手伝いができるように
日々学ぶ姿勢を忘れない様になっています



※「でーれーえー人」とは、岡山弁で「とても良い人」という意味です。頼りになるベテランを紹介するコーナーです。



チクバ外科の

Flower Road

フラワーロード



会長 竹馬 浩

マーガレットが満開

マーリー・アントワネットが好きだったと言われる花。花言葉は「遅い人」。100m程の花壇が毎年4月半ば、真白くなる程きれいになり、出勤途上の職員に元気をくれる。日本名は「木春菊」だが、強くて自然に増えるのがうれしい。ムスカリや菜の花の次はヒナゲシとマーガレットで、もうヒマワリが出番を待っている。秋にはコスモスで溢れるフラワーロードはいつも忙しい。

管理栄養士が オススメする メニュー

ケモチ麦入り 寿司

プチプチ食感

材料 (15cmケーキ型1個分 約6人分)

●白米	210g	●寿司酢 (酢 大さじ4、砂糖 大さじ3、塩 小さじ1/2)	●大葉	3枚
●もち麦	90g	●きゅうり 1本	●スライスチーズ	2枚
●水	330ml	●サーモン 150g (刺身用)	●白ごま	適量
		●ムキエビ 12尾		
		●卵 2個		

作り方

- STEP 01** 白米ともち麦を分量の水で一緒に炊き、寿司酢を混ぜて冷ます。
- STEP 02** サーモンの半分は焼いてフレーク状にほぐし、残りはスライス。きゅうりはピーラーで縦に3枚スライスし、残りは種を取りみじん切りにする。エビは茹で、卵は錦糸卵に、大葉2枚はせん切りにする。
- STEP 03** 寿司飯に焼いたサーモン・みじん切りのきゅうり・白ごまを入れて混ぜる。型にラップをし、錦糸卵・寿司飯1/2・大葉・エビの順に入れ、最後に残りの寿司飯を入れ押える。
- STEP 04** ひっくり返して器に出し、残りのサーモン・エビ・大葉・スライスチーズ・スライスしたきゅうりを飾る。



Medical recipes

栄養価 (1人分)
エネルギー：301kcal
蛋白：17.4g
脂質：4.9g
食物繊維：2.5g



豆知識

「もち麦」はもち性の大麦で、もちもちプチプチした食感と香り高い味わいが特徴です。食物繊維が豊富で、水溶性・不溶性2種類の食物繊維を含み、総食物繊維量は白米の25倍、玄米の4倍、ごぼうの2倍。お茶碗1杯(約3割炊き約150g)で2.3gの食物繊維がとれます。

炊き方は簡単、洗ったお米に混ぜるだけ！蒸してスープやサラダに入れて食べるのもおすすめです。寿司飯の中に入れてこんにゃくやかんぴょうを混ぜ込むとさらに食物繊維量アップ！型がない場合は牛乳パックなどでも出来ますのでぜひ試してみてください。(担当：管理栄養士 石邨 / 調理師 大迫)

ACCESS

当院へのアクセス方法

高速道路から

瀬戸中央道の水島インターで「玉野岡山方面」出口から一般道へ。二つ目の信号交差点「郷内」を右折し、すぐ次の信号を左折（水島インターより約3分）。

一般道から

県道児島線（21号線）を児島方面へ向かい、水島インター手前のガソリンスタンド（ENEOS）のY字路左側。

JRでは

JR瀬戸大橋線の茶屋町駅で下車、タクシーで約10分。

バスでは

倉敷駅前バスステーション6番ホームから下電バス「JR児島駅行き（天城線）」で約40分。「チクバ外科前」バス停にて下車、徒歩約1分。



 **チクバ外科**
胃腸科・肛門科病院

〒710-0142 岡山県倉敷市林2217 TEL 086-485-1755 FAX 086-485-3500

[診療受付時間] 午前 8:15~11:30 / 午後 12:30~17:00 ※ストーマ外来 予約制

<http://www.chikubageka.jp>

はなし×ちくば

チクバ外科胃腸科肛門科病院 広報誌
第26号 2021年6月発行

広報誌「はなし×ちくば」は、患者さんや医療従事者の皆さんに専門性の高い医療活動をより分かりやすく紹介しています。タイトルのとおり「はなしかける」ように発信することで、よりよい関係を築いていくことを目指します。

今回の特集は胃がんです。
新型コロナウイルスの流行により、検査を控えてしまう患者さんも増えております。早い段階では自覚症状が出ないケースも多く見られるようなので、先延ばしにせず定期的な検査が必要だと改めて感じました。
患者さんの立場からは、なかなか聞きにくい「抗がん剤」についても触れていただき、当院で力を入れている「外来化学療法」についても詳しく説明をしてみました。
今月号からデザインを変えてみました。ご意見・感想などがあればぜひお寄せください。



編集
後記